へ13
2483
15

へ 2483 15

仇縁桜言

縞治

前編

尾上梅幸作

歌川豊國画

圓壽堂發販

繪ざうし　けまぞ
おもしろく　描うく　ちなみ　かれる　あるな

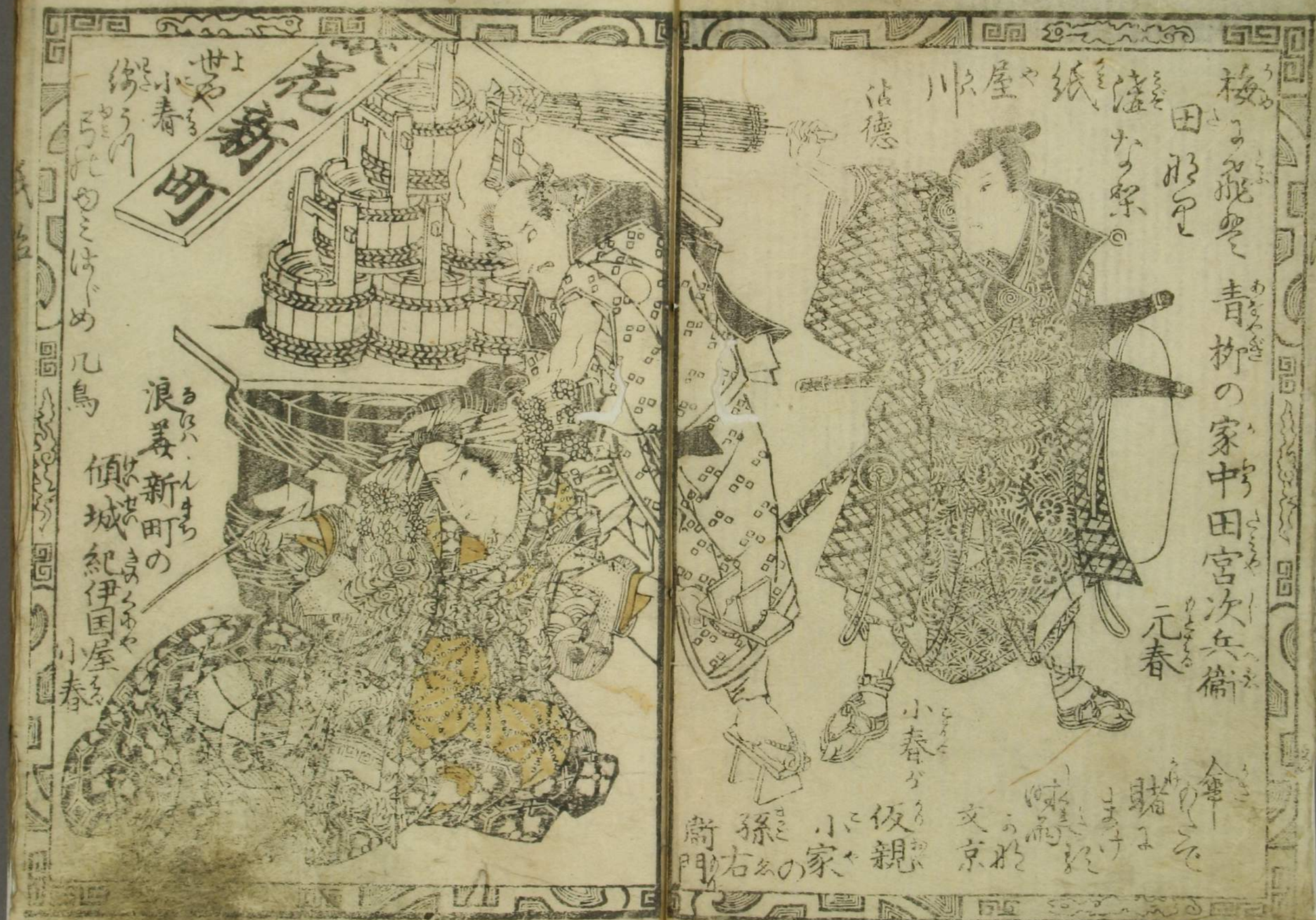
世の中は三月見ぬ間に芝居の流行　近松出雲が名作でも筆と金
なくば歌舞妓でさ捨ぜと十品の通り　新板も改まりぬる間はこのいつも
賢く繪の通り　むつかしく役でも業役でも見事仕治を役　着付の振袖
役でも實事でも役さへ色男　役さへ色男　張のめと紙入憂
ある花頭役　おもちどき花でも　婆もつぶ　滑の次第
樽の酒金もいぞず　役者は足のふ　着る　津打金井
初く　玄蕃　たくう　吹と自墻の鉢植　まず　鶴の　桜の
御贔屓を　祝ひまもうて　祝ひうふ

文政五壬午　新月稿成
文政六癸未　孟春発市

花竹立　文京校

任言作舎

青柳家奥女中
梅川
亀屋妙閑
貫之
来詣
姑食性
先遣
小姑
嘗
小説堂
青柳家近臣
野風亀蔵後ハ
亀屋忠兵衛
三洲原太兵衛


梅の花咲き 青柳の家中 田宮次兵衛
田形屋
元春
紙屋 川
清徳
傘
賭
小春が
仮親
小家の
孫右衛門
文京
新町
世やる小春
縁うり
ちよめとはづめ 几鳥
浪華 新町の
傾城 紀伊国屋
小春

奉
青柳左司馬之助源重光
若鮎の小太刀はきて遊ぶ夢太
奉納
大兵衛
三洲原下部
成人

奉納
田宮坊太郎
敬白
若神乎鼻息白面の角筑波山人
讃刀志渡寺の所化傳海

森口
源太左衛門

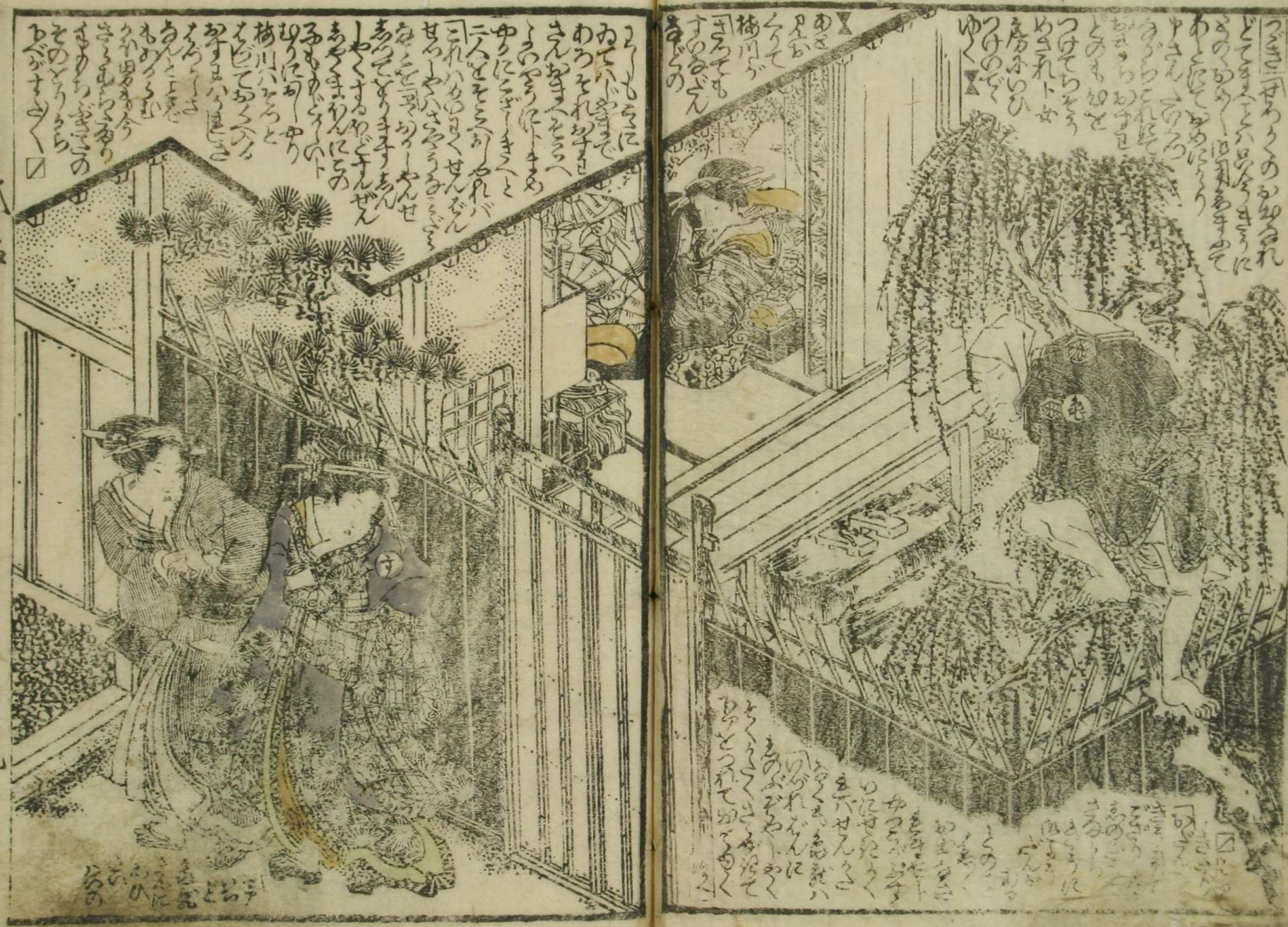
青柳
左司馬之助
田宮
坊太郎

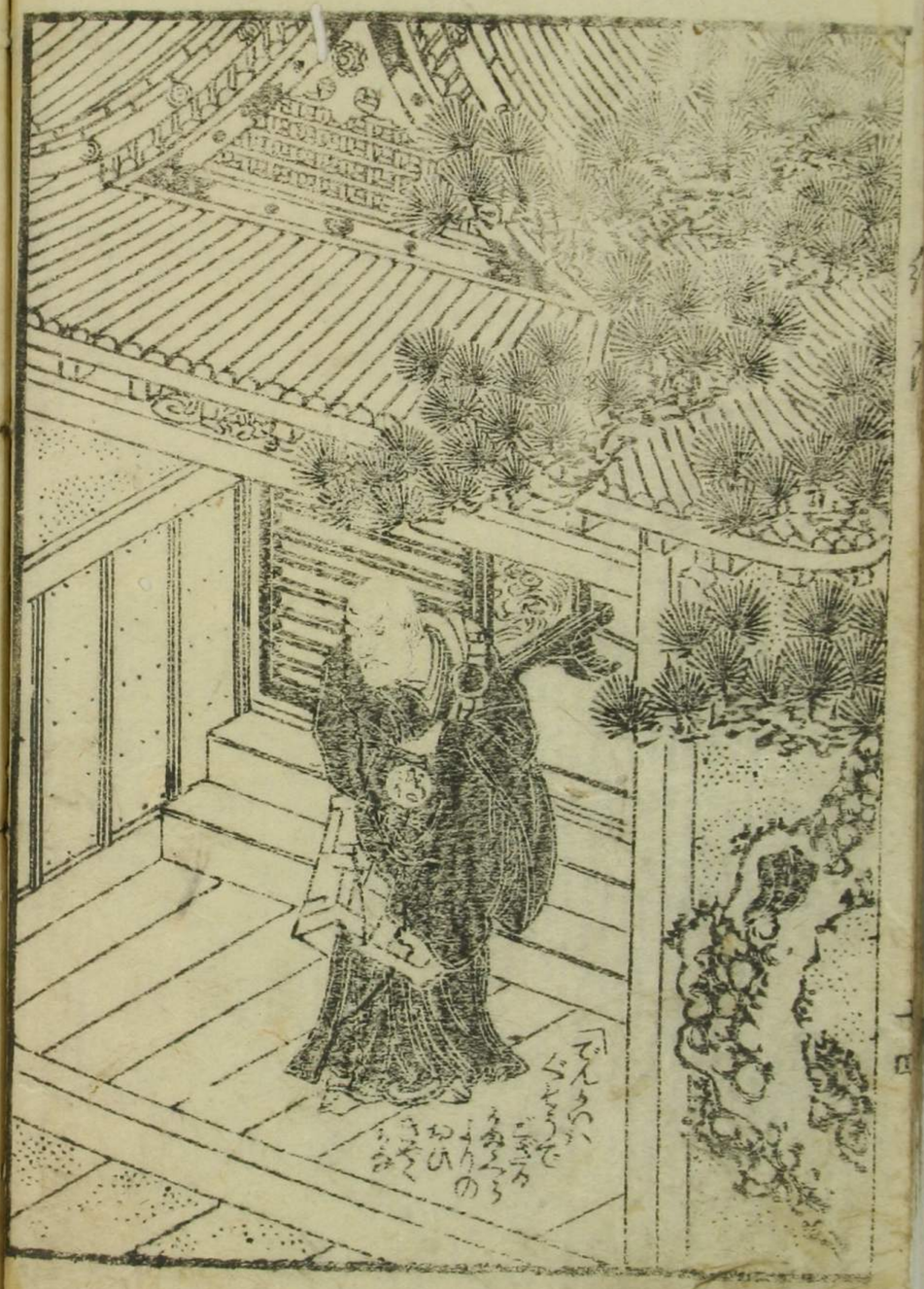
金田次郎大権
四郎成就 吉夏
今部
合巻六冊
東京
桂柄天満宮
共同宝寿
月日
大宮

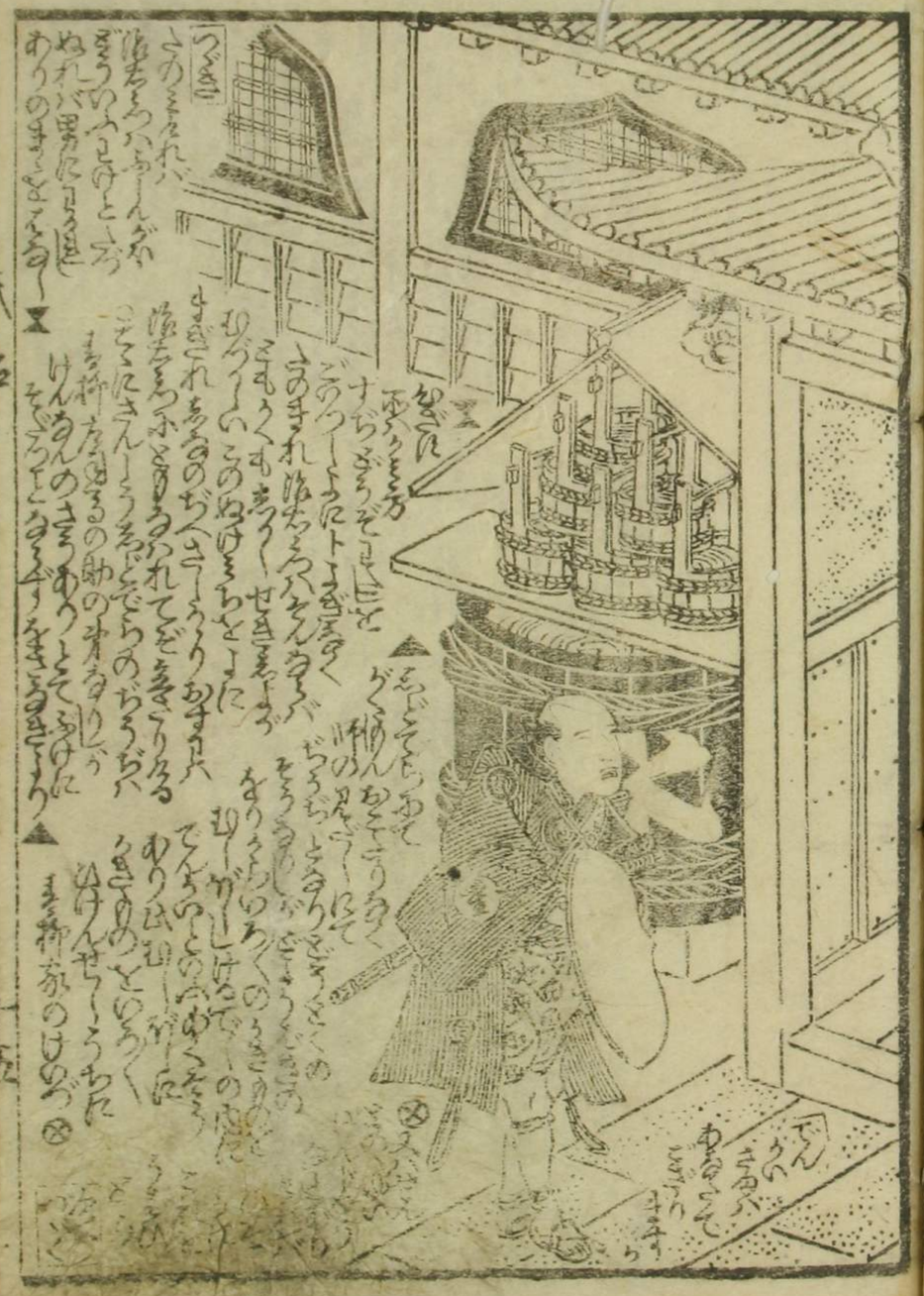
錦如林

兵濃之奥儀

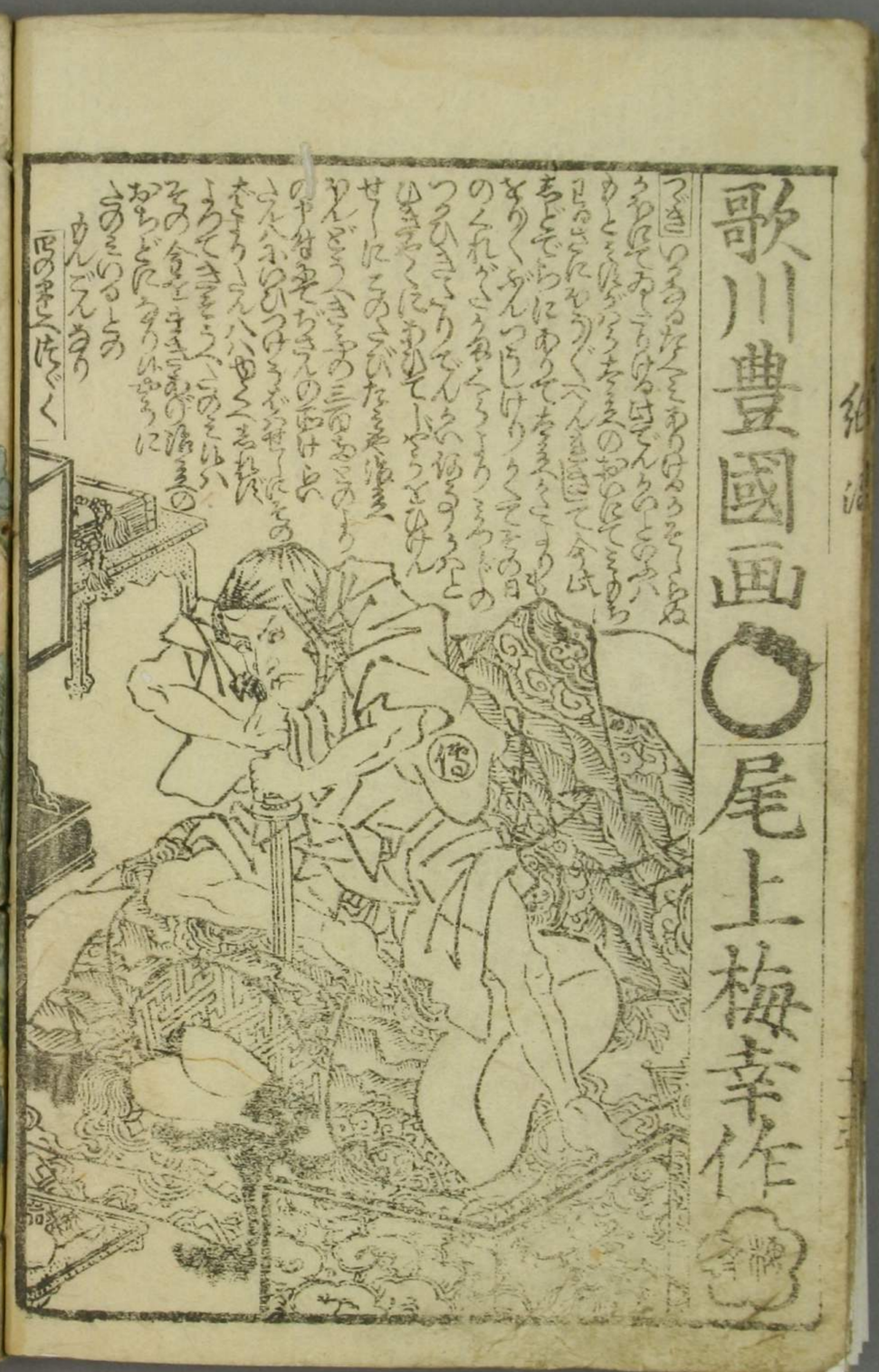
君はとうとく
安うねせよ梅の子







仇
誓
緑
全六冊
後
九芝板


歌川豊國画
尾上梅幸作
つぎ

梅幸作
豊國
画

全部
六冊

丸甚
壽梓

絵治後編

新町紀伊国屋内證之圖

小春初出之圖

一泉

「これさゆめとのらずと」

次

歌川豊國画

扇舎梅幸作

傭書 晋米齋

山田氏